

今年も会員のさまざまな「笑エネ」活動を交流します。しかし、この「笑エネ」それぞれ顔が違うように、やり方も、積み重ねてきた時間も、考え方も違うから〈中部のこれから〉を決めるのに時間がかかりました。討論を重ねていて感じたのは「時代の大きな曲がり角に立っている」でした。

日々の暮らしをこれまでの私たちは「他人任せだった」を 3.11 大震災に教えられます。「私たちが目指さなければならないのは、国のシステムによる画一的な再建ではなく、そのまちにあった『支え合う社会の再建』」であるはずですが。しかもこの列島人口、80 年もすると現在の 30% 近く 4500 万人になってしまうという。私たちはこれまでの 100 年とこの先 100 年の特殊な時代の渦中を生きているような気がします。であればこの先の選択肢は、100 年後を見据えての「暮らし方交流でありたい」

3000 年前、太陽や月を見て「日月に私照なし」と語り合った先人たち。善人も悪人も富者も貧者も分け隔てなく照らしてくれる「日・月」。自然と人間、人間と人間とが「ともに生きていくとは……」

ささやかであれ「暮らし方交流」が次代へとつながっていくことを念じながら、皆さんの参加を呼びかけます。ぜひぜひぜひ……。

日 時 2014 年 4 月 27 日 13 時 30 分～17 時

場 所 高蔵寺ふれあいセンター第 2 集会室 (2 階)

(会場は JR 高蔵寺駅徒歩数分ですので来場には極力公共交通機関をご利用ください)

講 演 市民がつくる太陽文明 PV-Net 共同代表 都筑 建 氏

特別講師 「本気で 5 アンペア 電気の自産自消へ」 著者

朝日新聞記者 斎藤健一郎 氏

提 案 1. エネルギー自給は人間活動の基本

2. 発電所長さん！ 31% の節電を

3. 中部地域交流会会員の活動

参加費 無料 (ご寄附大歓迎)

参加申込先 太陽光発電所ネットワーク (PV-Net) 中部地域交流会 武田善明

連絡先 携帯：080-4071-9147 / 電話：052-692-7070